（本號十面）　（明治廿五年一月廿一日　三月十一日　遞信省認可）　明治二十八年十一月二十二日　第四千四百四十四號　（定價金二錢五厘）

# 時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

## 時事新報

### 自衛の必要

一國の軍備は自衛の爲めなり自衛とは何ぞ外に對して自國を衛るの謂なり今の世界の立國は甚だ易からず平常無事の日に於ては外交の局面甚だ穏にして毫も波瀾を認めず和氣洋々として四海皆友の觀あれども一朝事の行違ひより破裂を生じて風雲の變を見るときは昨日の朋友は今日の讐敵にして或は四海皆敵の惰態を現出するやも測る可らず國交際の常にして怪しむに足らず即ち國に自衛の必要ある所以にして世界各國共に軍備に汲々たるは之が爲めのみ或は現に與國との交際親密にして毫も疑際の認む可きものなきに之に備ふるの用意は甚だ不祥に似たれども事實の實際は如何ともす可らず例へば何れの國に於ても他の締盟國の貴賓來遊の折などには殊に海陸の觀兵式を行ふて其覽に供するなどあり歓迎の意に出づるものなれども若しも其兵備は何の爲めの用意なるやと問はれたらんには直ちに貴國を始め同盟國に對するが爲めなりと答ふるの外なかる可し來客をもてなすに白刃を眼前に示すと同樣にして甚だ奇なるが如くなれども萬國一樣の例にして以て今の國交際の眞相如何を窺ふに足る可し左れば今回我國に於て軍備擴張の計畫ありと云ふ其計畫は世界に普通の事を行ふものにして別に特殊の目的あるに非ず一方より見れば萬國皆友なれども又一方より見れば萬國皆敵なる今の世界に處して自から國を衛るには兵備の外に手段ある可らず乘人悉く平服の中に猶り刀劍を帶ずるときは他人に怪しまるゝとももらんなれども帶刃の軍中に一人の脱刀は甚だ無用心なり軍備擴張は普通の例に倣ふものにして毫も怪しむ可きに非ざれば世界の表面に其計畫を發表し正々堂々事に着手して憚る所はある可らず自から卑の實を行ひながら他の計畫を聞て之を疑ふものなきは我輩の能に保證する所なり而して我國にて軍備の擴張は日清戰爭の經驗に就て其必要を感じたるに相違なけれども尚ほ他に擴張の理由ありと云ふは外ならず一國の軍備は自から衛るが爲めなりと云ふ衛るとは即ち國内の富實を衛るものにして其富實の量如何に據りて計畫にも自から差違なきを得ず喩へば一物の蓄もなき乘客貴の家ならんには暴客賊心にして三間の茅屋夜靜にして主人の爛眠を妨げず雖も富豪大家の家に於ては自から門戸を嚴重にし土藏を堅固にして番人を置の必要あるが如し日本は從來とても決して貧國ならず大に衛るの必要は認めざりしに非ずと雖も何を云ふにも百事草創の際にして差當り經費を要したるの事物少なからず軍備の如き事の急と知りながらも充分に行屆かずして不如意勝に經過したるのみとなれども近年來國力の發達は非常のものにして富實の增殖と共に國の會計にも餘裕を告げて始めて年來の不如意を償ふの機會到來せり即ち今度の計畫は國内の富實を斟酌に相當の軍備を備へんとするものにして其趣は金滿家が其身代を護るが爲めに土藏を構へ番人を置くに異ならず今の日本の身代に比較して現在の軍備の不相當なるは數に於て明白なれば其擴張は至當の處置として何人も認むる所なる可し是れに由て之を見れば日本の軍備擴張は今の世界に普通の事を行ふものにして外に對しても毫も憚る所なきのみか内に於ては國の富實を護るが爲め國力相當の經營にして事の必要に出でたるものなれば何れの點よりするも至當の處置にして怪しむに足る可らず我輩は當局者が大膽以て事に當り充分に擴張の目的を達せんみと敢て希望に堪へざるなり

明治廿八年十一月廿二日金曜日
舊暦乙未十月六日（癸酉）
日出午前六時二十五分　日入午後四時二十九分
月出午前十一時九分　月入午後九時二十八分
潮汐午前八時三十九分　潮汐午後九時二分
（西暦一千八百九十五年）
年始より年末まで　三百二十六日　三百三十九日

## 雜報

### ○海軍功叙勳（十一月十二日敍勳）

勲金三百圓（以上四名）
海軍大佐　杉浦道八郎
海軍大佐　瓜生外吉

勲金二百圓
授旭日中綬章（年金三百六十圓）
海軍少將　松村正命
海軍大佐　野村靖

授旭日中綬章（以上一時金五百圓）
海軍大佐　天野才藏

授旭日小綬章（年金百三十五圓）
海軍少將　松村正命
海軍大佐　野村靖

授旭日小綬章（以上一時金三百圓）
海軍大佐　森又七郎

授瑞光旭日章（以上一時金二百圓）
敍勲三等授瑞寶章（以上一時金五百圓）
海軍大佐　原田宗助

敍勲三等授瑞寶章（年金二百六十圓）
海軍機關少監　鬼頭利賓

敍勲四等授旭日章（以上一時金二百圓）
海軍大佐　加藤雄次郎

敍勲四等授旭日小綬章（年金百八十圓）
海軍少佐　平野爲愛

敍勲四等授旭日小綬章（以上年金百三十五圓）
海軍少佐　高柴勇

敍勲五等授瑞光旭日章（以上年金百二十圓）
海軍主計少監　神山昌藏

敍勲五等授瑞光旭日章（以上年金百一十圓）
海軍大佐　運轉官太郎

敍勲五等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　北古賀竹一郎

敍勲五等授瑞寶章（以上年金百圓）
海軍大佐　鶴田鹿吉

敍勲六等授瑞光旭日章（以上年金八十圓）
海軍大佐　鶴友次郎

敍勲六等授瑞光旭日章（以上一時金五百圓）
海軍少將　綱野直俊

敍勲六等授瑞寶章（以上一時金五百圓）
海軍少將　谷佐藤鎮雄

敍勲六等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍大佐　田凡唯一

敍勲六等授瑞寶章（以上一時金三百圓）
海軍大佐　千住虎貞

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍主計少監　鷹遠直邦

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金四百圓）
海軍大佐　肝付兼行

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金三百圓）
海軍主計少監　永田贊知

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍大佐　室田氏

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金三百圓）
海軍主計少監　森慶造

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍機關大監　吉田貞一

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　荒木兼玉

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍機關大監　利越惟一

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍大佐　朝枝信久

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　谷雄介

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　小川友野政賢

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　大久保實造

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍主計少監　丹治乙治

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金三百圓）
海軍主計少監　吉井眞吉

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金三百圓）
海軍少佐　中秋長國

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　屬場新入

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　迫間孟之丞

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　川上俊雄

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍機關大監　片江義高

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍機關少監　宇野鼎久

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　馬場鶴

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍機關大監　高橋秀松

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍機關少監　石黒宇宙治

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍軍醫少監　本多忠夫

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍機關少監　宇野鼎久

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍少佐　馬場鶴

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍機關大監　高橋秀松

敍勲七等授瑞寶章（以上一時金二百圓）
海軍軍醫